



1 実践の概要

実践校・園	ウェルビューいずみこども園
テーマ	「自分の命は自分で守ることができるために」
外部指導者	秋田大学地域創生センター 地域防災部門 准教授 鎌滝孝信
実施日時	平成24年12月18日（火） 10時00分から10時55分まで
実施場所	ウェルビューいずみこども園ホール
参加者	園児35名（4歳児16名・5歳児19名）、保護者2名、保育職員8名、他職員6名

2 実践内容

次第・講義内容等	時間 (分)	準備・留意事項等
1 こんにちはの会 ・挨拶と鎌滝先生のご紹介	5	【準備物】 スクリーン、プロジェクター、マイク、テーブル 【留意事項】 ○事前に指導者の方との連携を図る。
2 鎌滝先生のお話 【パワーポイントを使用して】 ・これまでに起きた災害の映像 ・震度による揺れと災害及びその時の私たちのとるべき行動 ・津波の速さと乗り物や走る人との比較 ・津波と波の勢いの違い ・合言葉「おかしもち」の約束 【実験】 ・津波の特徴と威力	25	・園側で考えるテーマ・時間・内容・望む子どもの姿・事前事後活動などを伝える。 ○当日の内容の充実を図る。 ・子どもの期待・思い・考えを大切にしながら、テーマに沿った望む子どもの姿に近づくための援助や指導の在り方について事前に話し合う。 ・子どもの気づきやつぶやきを聞き逃さずに受け止め、驚きや喜びをみんなで共有できるようにする。 ・鎌滝先生に親しみを持てるような雰囲気づくりや言葉かけをする。 ・子どものつぶやき表情気付きなどに応えながら、聞きたい見たい知りたい話したいの思いが膨らむようにする。 ・子どもたちが親しみをこめて感謝の気持ちを表すことができるような雰囲気づくりをする。
3 ありがとうございますの会 	10	○園児や職員や保護者の防災意識を高める ・今日の話から知ったこと考えたことを防災訓練につながるように分りやすく伝え、自分なりに「こうしてみよう」と考えられるようにする。 ・学んだこと考えたこと取り組んだことなどを伝え合い、共有することで今後に繋がるようにする。 ・保護者に当日参加のご案内をする。 ・園便りで当日の様子を地域の方にお知らせする。 ・当日の学びを職員間で共有しマニュアルや、実践への活かし方を見い出す。
	計55	

3 参加者の感想

<p>児童生徒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を真剣に頑張りたい。 ・教えてもらったことをお家の人にも教える。 ・「おかしもち」の約束を忘れない。 ・普通の波と違って津波は怖いと思った。 ・「津波がくるぞー」って言ったら高い所に逃げる。 ・地震が来たら頭を守る。 ・お家で危ない所がないか探してみる。 ・昔の地震の映像を見たときすごいと思った。 ・鎌滝先生は地震や津波のことをいっぱい研究している先生だと思った。優しかった。 
<p>保護者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育は大切なことだと思った。終わると子どもたちが「楽しかった」と話していたので子どもたちにも伝わったと思う。 ・写真や絵での説明でとても分かりやすかった。

4 成果と課題

<p>成 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 写真や絵を使用したスライドと津波の実験は、子どもの心に響くものであった。丁寧な説明で子どもの発言や表情を受け止めながら進めてくださり、分りやすく、指導者の先生に親しみを感じながら関心を持って聞くことができた。 2 事前事後活動や当日の活動のあらましに沿った望む子どもの姿について、事前に指導者の先生にお伝えし受け入れていただくことができた。このことは、子どもたちの聞きたい、見たい、知りたい、話してみよう、の思いが膨らむ体験につながったのではないかと考える。 3 地震や津波が起きたらどうなるのか、大切な命を守るためにはどうすればいいのかを真剣に考えたり伝え合う姿が見られ、「自分の命は自分で守る」ことの意識の高まりが感じられた。 4 お迎え時、親に「おかしもち」について教える様子が見られた。また、帰宅してから家の安全チェックをしたり、子ども自身が危険なところを発見したなどの話があった。子どもの意識の高まりが家族の防災意識の高まりに繋がっていることが感じられた。
<p>課 題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の活動においてこれまでに起きた災害の映像や実験を見ることで、災害の大きさや怖さを実感することができた。今後につながるために、普段の生活（保育園で遊んでいる時、家で食事をしている時など）での災害発生を想定し、子どもと保護者と職員が避難の仕方をシミュレーションして、講師の方にご指導いただくような取り組みも検討したい。 2 多くの保護者の防災意識が高まるように、次回は全保護者に参加を募りたい。仕事の都合上参加できない保護者もいるためクラス懇談会などで取り上げていきたい。 3 災害が起きたときに、地域と協力しながら避難をする力が育つように、職員と地域とで、協力体制の必要性やそのあり方について共に学び合う機会を継続的に設けたい。 4 子ども・保護者・保育園・地域とでつながり合う防災意識の向上を目指したい。